



DIGITAL MIXING CONSOLE

CL5

CL3

CL1

V1.7 追補マニュアル

この追補マニュアルでは、CL5/CL3/CL1 ファームウェア V1.6 および V1.7 で追加 / 変更された機能を中心に説明します。
CL5/CL3/CL1 取扱説明書、リファレンスマニュアルと併せてご利用ください。

目次

SELECTED CHANNEL セクション	3
GAIN の表示改善	3
HPF の表示改善	4
Centralogic セクション	4
DCA グループの表示改善	4
インプット系チャンネル	5
インプットパッチ変更時における HA 設定の機能追加	5
グルーピング / リンク	7
DCA グループ / MUTE グループ名の表示改善	7
DCA グループの機能追加	8
チャンネルリンクの表示改善	9
モニター / キュー	10
キューの機能拡張	10
メーター	10
メーター表示の機能追加	10
グラフィック EQ/ エフェクト / PREMIUM RACK	11
ポップアップ画面の操作改善	11
タップテンボ機能の表示改善	11
I/O デバイスと外部ヘッドアンプ	12
機器状態の表示機能追加	12
I/O デバイスの設定改善	14

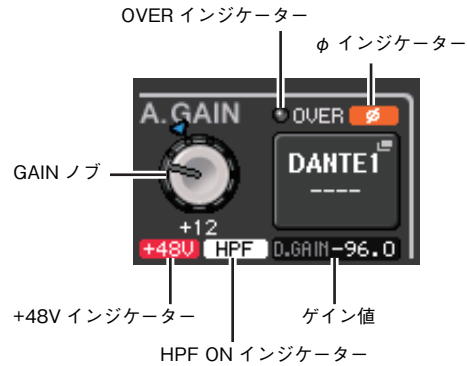
ユーザー設定	15
GAIN/PAN/ASSIGN ノブ (アサインابلエンコーダー) の機能追加	15
カスタムフェーダーバンクの機能追加	15
ロード / セーブの機能追加	18
USB 過電流からの復帰機能追加	21
そのほかの機能	22
チャンネルネームディスプレイの表示改善	22
チャンネルカラーの追加	22
GPI の機能追加	23
Dante オーディオネットワーク設定の初期化	23
ブロックダイアグラム	24

SELECTED CHANNEL セクション

GAIN の表示改善

SELECTED CHANNEL VIEW 画面の GAIN/PATCH フィールドに、HA のアナログゲインとデジタルゲインの両方が常に表示されるようになりました。

■ A.GAIN 表示



・ゲイン値

GAIN ノブにアナログゲインが割り当てられているときにはデジタルゲイン値が表示されます。

HA のない入力のパッチされているインプットチャンネルでは、GAIN ノブ、+48V インジケータ、HPF ON インジケータが表示されません。



■ D.GAIN 表示



・ゲイン値

GAIN ノブにデジタルゲインが割り当てられているときにはアナログゲイン値が表示されます。

HA のない入力のパッチされているインプットチャンネルでは、アナログゲイン値が表示されません。



HPF の表示改善

SELECTED CHANNEL VIEW 画面の GAIN/PATCH フィールドに、R シリーズなど外部 HA の HPF の状態が表示されるようになりました。



- ・ HPF ON インジケータ
外部 HA の HPF のオン / オフ状態を表示します。

HPF/EQ ポップアップ画面に HPF ON インジケータとカットオフ周波数が表示されるようになりました。



- ① HA HPF ON インジケータ
外部 HA の HPF のオン / オフ状態を表示します。
- ② FREQUENCY
外部 HA の HPF のカットオフ周波数を表示します。

Centrallogic セクション

DCA グループの表示改善

OVERVIEW 画面の DCA メンバー表示において、15 以上のチャンネルが登録されているときに、Centrallogic セクションのマルチファンクションノブを使用してチャンネルをスクロールできるようになりました。

インプット系チャンネル

インプットパッチ変更時における HA 設定の機能追加

インプットパッチを変更するときに、パッチしたポートが保持している HA 設定がそのまま使用されるか、チャンネルが保持している HA 設定がパッチしたポートにコピーされるかを選択できるようになりました。

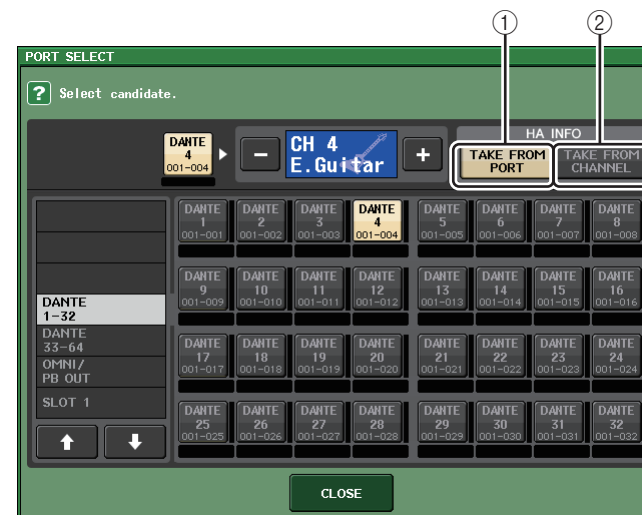
PORT SELECT ポップアップ画面と PATCH/NAME ポップアップ画面にて、選択を行ないます。

NOTE

CL Editor から HA 設定をそのまま使用するか、チャンネルからコピーするかを選択することもできます。詳細は CL Editor 取扱説明書を参照してください。

■ PORT SELECT ポップアップ画面での設定

1. OVERVIEW 画面の GAIN/PATCH フィールドを押して、GAIN/PATCH ポップアップ画面を表示します。
2. PATCHボタン(またはINPUT PORTボタン)を押して、PORT SELECTポップアップ画面を表示します。



3. HA INFO フィールドのボタンを押して、ポート側の HA 設定が優先されるか、チャンネル側の HA 設定が優先されるかを選択します。

① TAKE FROM PORT ボタン

ポート側の HA 設定が優先されます。パッチを変更してもポートの HA 設定はそのままとなります。

② TAKE FROM CHANNEL ボタン

チャンネル側の HA 設定が優先されます。直前にパッチされていたポートの HA 設定を、新しくパッチされたポートにコピーします。

ボタンを切り替えると確認のダイアログが表示されます。

HA のない入力がパッチされているインプットチャンネルではダイアログは表示されません。

チャンネル側の HA 設定が選択された場合、チャンネル側から下記の HA 設定がパッチしたポートにコピーされます。これらの設定を持たない (HA のない) 入力からインプットチャンネルのパッチを行なうと、初期値が設定されます。

HA 設定内容	初期値
HA のゲイン量	- 6dB
HPF のオン / オフ	オフ
ファンタム電源のオン / オフ	オフ
ゲインコンペンセーションのオン / オフ	オフ

NOTE

以前に何もパッチされていないインプットチャンネルに新規でパッチを行なう場合は、HA INFO フィールドの TAKE FROM CHANNEL ボタンが押されているときに、初期値が設定されます。

■ PATCH/NAME ポップアップ画面での設定

1. OVERVIEW 画面のチャンネル番号 / チャンネル名フィールドを押して、PATCH/NAME ポップアップ画面を表示します。



2. PORT SELECT ポップアップ画面と同様に設定します。

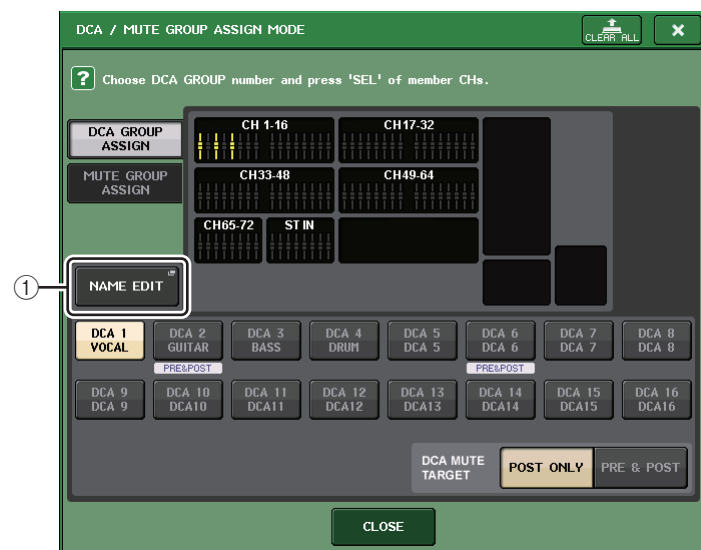
グループピング / リンク

DCA グループ / MUTE グループ名の表示改善

DCA/MUTE GROUP ASSIGN MODE ポップアップ画面にて、DCA グループ名とミュートグループ名が表示できるようになりました。

■ DCA グループ名の編集と表示

1. ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタンを押します。
2. DCA GROUP ボタンを押して DCA/MUTE GROUP ASSIGN MODE ポップアップ画面を表示します。



① NAME EDIT ボタン

現在選択している DCA グループのグループ名を編集します。

3. NAME EDIT ボタンを押して、NAME 画面を表示します。

キーボードウィンドウが表示されますので、文字の入力 / 修正を行いません。



4. DCA グループ選択ボタンに DCA グループ名が表示されます。

■ ミュートグループ名の編集と表示

ミュートグループ名も DCA グループと同様に設定します。



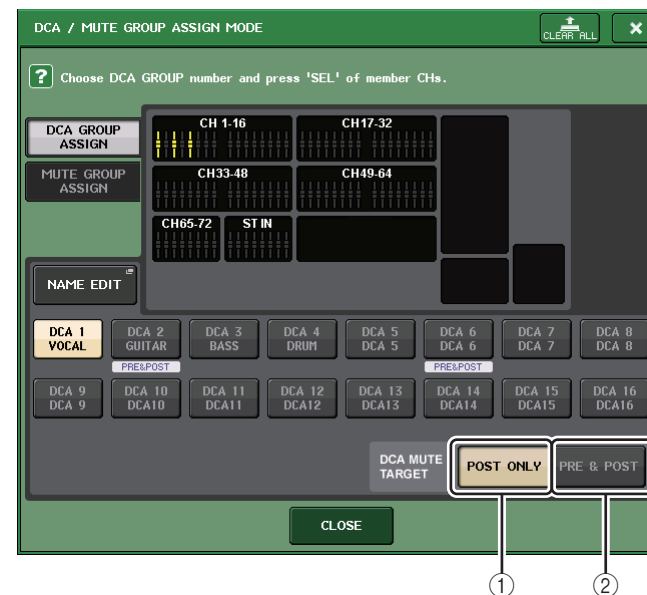
① NAME EDIT ボタン

現在選択している MUTE グループのグループ名を編集します。

RECALL SAFE MODE ポップアップ画面、GLOBAL RECALL SAFE ポップアップ画面、GLOBAL PASTE ウィンドウの PATCH/NAME タブにて、登録したグループ名は表示されます。

DCA グループの機能追加

インプット系チャンネルからセンドポイントを PRE に設定しているバスへの送りを DCA グループのミュート対象に設定できるようになりました。



① POST ONLY ボタン

ミュートの対象を POST のみに設定します。

② PRE & POST ボタン

ミュートの対象を PRE と POST に設定します。

この設定をした DCA グループの下に PRE & POST インジケータが表示されます。

DCA グループのミュート対象は各 DCP グループに対して個別に設定できます。

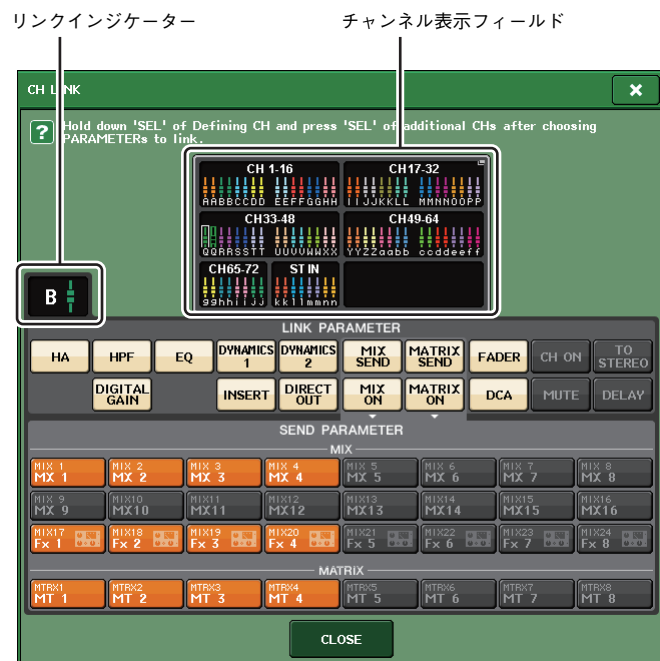
複数の DCA グループに登録しているチャンネルは、いずれかの DCA グループをミュートすれば、そのチャンネルの信号経路 (該当するバスへの送りを含む) がミュートされることとなります。

チャンネルリンクの表示改善

CH LINK MODE ポップアップ画面にリンクインジケータを追加して、現在設定しているリンクグループが判別しやすくなりました。

■ CH LINK MODE ポップアップ画面の表示

1. ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタンを押します。
2. CH LINK ボタンを押して、CH LINK MODE ポップアップ画面を表示します。



3. [SEL]キーやチャンネル表示フィールドでリンクするチャンネルを選択して、リンクインジケータにリンクグループを表示します。

リンクグループに所属しているチャンネルを選んだ場合は、所属するリンクグループを表示します。LINK PARAMETER フィールドと SEND PARAMETER フィールドは、そのリンクの設定を表示します。

リンクグループに所属していないチャンネルの [SEL] キーを押している間は、次に紐むリンクグループをリンクインジケータに表示します。LINK PARAMETER フィールドと SEND PARAMETER フィールドには直前に表示していたリンクグループの設定を表示します。

モニター / キュー

キューの機能拡張

キューのモニターレベルで設定できる範囲が、-30dB ~ +20dB にひろがりました。

CUE ポップアップ画面にて設定します。

■ CUE ポップアップ画面の表示方法

1. ファンクションアクセスエリアの MONITOR ボタンを押して、MONITOR 画面を表示します。
2. CUE ポップアップ表示ボタンを押します。

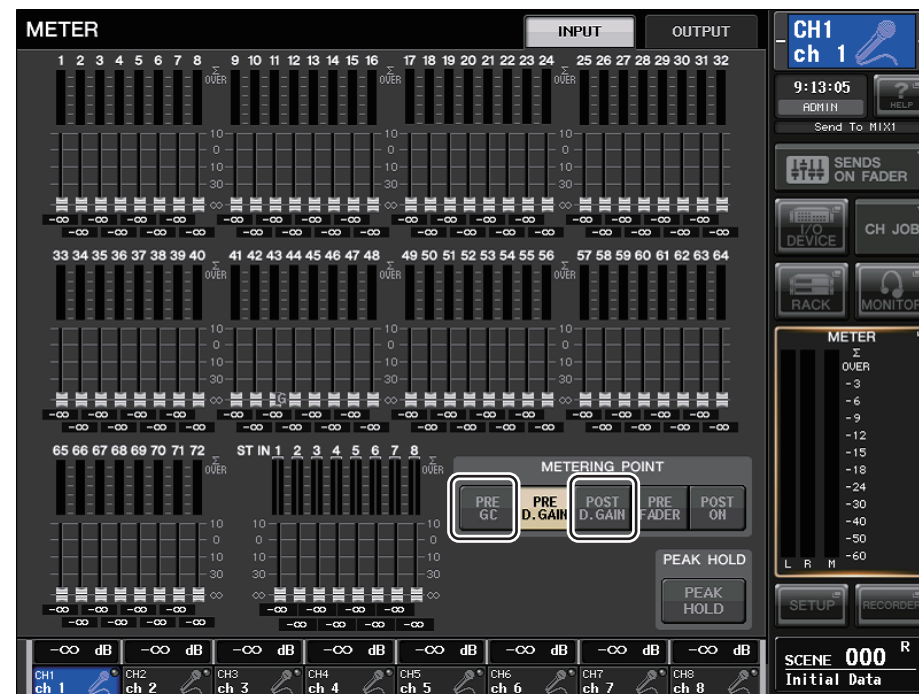


モニターレベルを-30dB ~ +20dB の範囲でノブを使って調整します。

メーター

メーター表示の機能追加

METER 画面の METERING POINT フィールドに PRE GC METER と POST DIGITAL GAIN METER を追加しました。また、PRE HPF の名称を PRE D.GAIN に変更しました。

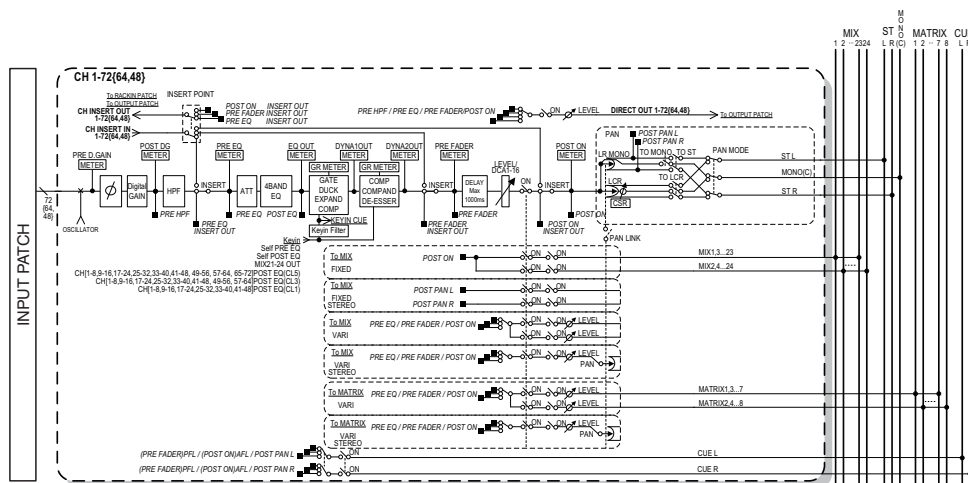


レベルを検出するメーターポイントを選択します。

■ INPUT METER の場合

- PRE GC.....GAIN COMPENSATION の直前
- POST D.GAIN.....DIGITAL GAIN の直後

グラフィック EQ/ エフェクト /PREMIUM RACK



ポップアップ画面の操作改善

EFFECT ポップアップ画面、GEQ ポップアップ画面、PREMIUM RACK ポップアップ画面にて、[SEL] キーでチャンネルの切り替えができるようになりました。

EFFECT ポップアップ画面にて、エフェクトのパラメーターを操作中にトップパネルの [SEL] キーを押すと、そのチャンネルにインサートされているエフェクトに画面が変わります。GEQ ポップアップ画面、PREMIUM RACK ポップアップ画面も同様です。また、EFFECT ポップアップ画面から GEQ ポップアップ画面や PREMIUM RACK ポップアップ画面への切り替えなども可能です。

また、操作対象のチャンネルに連動して、下記の項目が変わります。

- ・ ファンクションアクセスエリアの選択チャンネル表示
- ・ 同期している CL Editor の操作チャンネル

切り替わったチャンネルにインサートの設定がされていない場合は、通知するダイアログが表示されます。

タップテンポ機能の表示改善

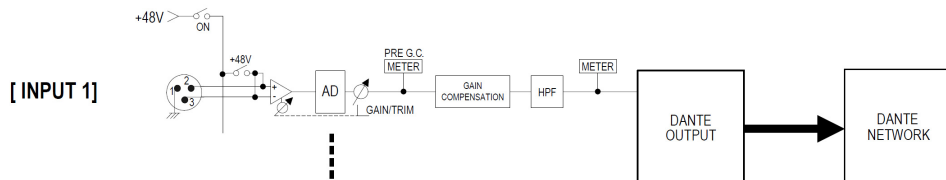
USER DEFINED キーに TAP TEMPO を設定した場合、そのキーを押して BPM (テンポの値) を設定すると、以下のようなポップアップ画面が表示されるようになりました。

■ タップテンポ ポップアップ画面



NOTE

TAP TEMPO を設定している EFFECT EDIT ポップアップ画面が開いている場合、このポップアップ画面は表示されません。



I/O デバイスと外部ヘッドアンプ

機器状態の表示機能追加

接続されている CL シリーズおよび R シリーズ (Ro8-D 除く) の機器の状態や Dante の状態をタッチスクリーンで確認できるようになりました。

R シリーズの状態をコンソールから確認するには、DANTE SETUP で REMOTE HA にアサインしている必要があります。

CL シリーズ

DANTE SETUP 画面の SETUP フィールドにて、CL シリーズの本体と Dante ネットワークの状態がインジケータ表示されます。



R シリーズ

I/O DEVICE 画面の Rio フィールドにて、R シリーズの本体と Dante ネットワークの状態がインジケータ表示されます。



V1.61 対応するより前のファームウェアの場合、バージョン表示が黄色になり、インジケータは消灯します。

メッセージ一覧





エラー/警告/インフォメーションの各メッセージを表示します。また、Dante Controller の Error Status にもメッセージが表示されます。



各インジケータの点灯/点滅は以下のように動作します。

記載無し	消灯
点灯	点灯し続けます
点滅	点滅し続けます
2 回点滅	周期的に 2 回点滅します
3 回点滅	周期的に 3 回点滅します

■ エラーメッセージ

問題が解消されるまで、SYSTEM のインジケータが以下のように点灯/定期的に点滅し続けます。修理が必要な場合は、CL5/CL3/CL1 取扱説明書に記載されているヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。




[SYSTEM] インジケータ	内容	対策方法
 2 回点滅	Dante の内部エラーが発生した。	機器が故障しているので、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
 3 回点滅	MAC Address 設定が壊れたため、Dante による通信ができない。	
 点灯 3 回点滅	内蔵メモリーが破損した。	[RESUME] として使用するとき、電源を入れ直しても問題が解消されない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
 点灯	UNIT ID が重複している。	Dante ネットワーク内で UNIT ID が重複しないように設定し直してください。

[SYSTEM] インジケータ	内容	対策方法
 点滅	ディップスイッチの設定が間違っている。	ディップスイッチの設定を見直して、正しく設定してください。
 点灯 点滅	Dante のフロー数が制限を超えた。	Dante ネットワークのルーティングを見直してください。

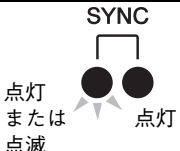
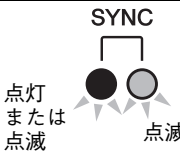
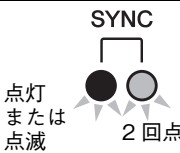
■ 警告メッセージ

問題が解消されるまで、インジケータは点灯/定期的に点滅します。

緑色の [SYNC] インジケータが消灯している場合は、機器のクロックが未確定であることを示します。

[SYNC] インジケータ	内容	対策方法
 点滅	ワードクロックの設定が間違っている。	CL5/CL3/CL1 ネイティブ対応機器または Dante Controller でクロックマスターとサンプリング周波数を正しく設定してください。
 2 回点滅	Dante ネットワークの回線が繋がっていない。	Ethernet ケーブルが抜けていないか、または断線していないか確認してください。
 3 回点滅	Dante ネットワークの結線が間違っているため、他の Dante 機器が発見できない。	Ethernet ケーブルの結線が正しいかどうか確認してください。

緑色のインジケータが点滅している場合は、機器がクロックマスターであることを示します。
 緑色のインジケータが点灯している場合は、機器がクロックスレーブでありクロックが同期していることを示します。

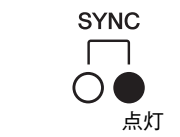
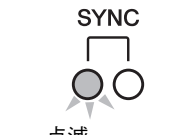
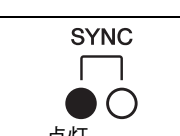
[SYNC] インジケータ	内容	対策方法
 <p>点灯 または 点滅</p>	ギガビットイーサネットに対応していない機器が接続されている。	Dante での音声伝送をする場合は、ギガビットイーサネットに対応した機器をご使用ください。
 <p>点灯 または 点滅</p>	リダンダンシーネットワークのときに、[SECONDARY] 端子で通信をしている。	[PRIMARY] 端子に接続されている方の回線を確認してください。
 <p>点灯 または 点滅</p>	リダンダンシーネットワークのときに、[SECONDARY] 端子に接続されている回線に異常が発生した。	[SECONDARY] 端子に接続されている方の回線を確認してください。

■ インフォメーションメッセージ

インジケータは点灯 / 定期的に点滅して、状態を通知します。

橙色の [SYNC] インジケータが消灯している場合は、正常に動作しています。

緑色の [SYNC] インジケータが消灯している場合は、機器のクロックが未確定であることを示します。

[SYNC] インジケータ	内容	説明
 <p>点灯</p>	同期処理をしている。	同期が完了するまでお待ちください。同期が完了するまで最大 45 秒かかることがあります。(R シリーズのディップスイッチ設定を REFRESH にしている場合、with RECALL を設定している CL が起動するまで同期処理は完了しません。)
 <p>点滅</p>	ワードクロックマスターとして正常に機能している。	機器がワードクロックマスターであることを示します。
 <p>点灯</p>	ワードクロックスレーブとして正常に機能している。	機器がワードクロックスレーブであり、クロックが同期していることを示します。

I/O デバイスの設定改善

Dante オーディオネットワークにある I/O デバイスをマウントするときに、デバイスタイプで機器を判別できるようになり、設定と表示を改善しました。

SUPPORTED DEVICE として認識するデバイスラベルは以下です。

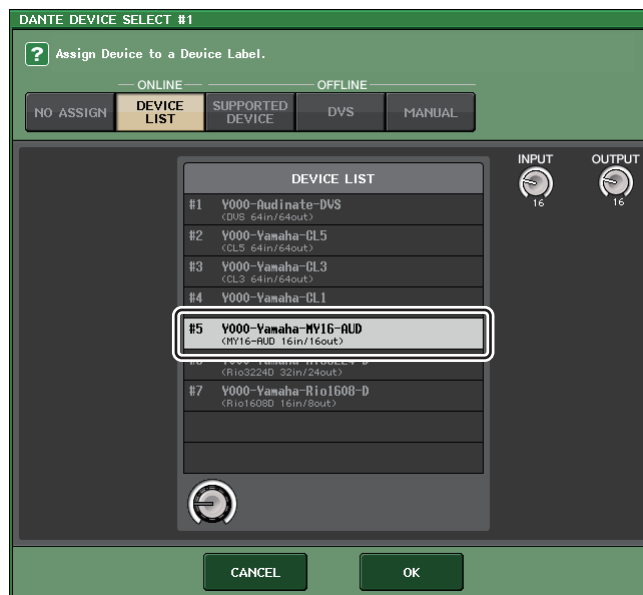
Y###-*****

は 0 ~ 9, A ~ F (大文字) の 16 進数 3 桁 (000 ~ FFF)

* は任意の文字 (英字 (大文字 または小文字)、数字、-(ハイフン)) が使用可)

Y を含めて 31 文字まで対応しています。

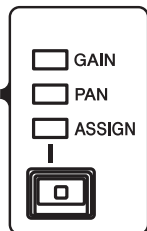
DEVICE SELECT ポップアップ画面の DEVICE LIST フィールドで、デバイスラベルとデバイスタイプが表示されます。



ユーザー設定

GAIN/PAN/ASSIGN ノブ (アサインブルエンコーダー) の機能追加

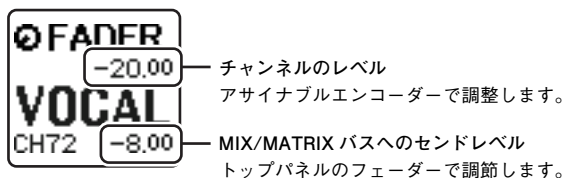
SENDS ON FADER モードのとき、アサインブルエンコーダーに機能が追加されました。



■ トップパネルの [GAIN/PAN/ASSIGN] キーで ASSIGN を選択している場合

アサインブルエンコーダーでチャンネルのレベル量を調整します。

チャンネルネームディスプレイ表示



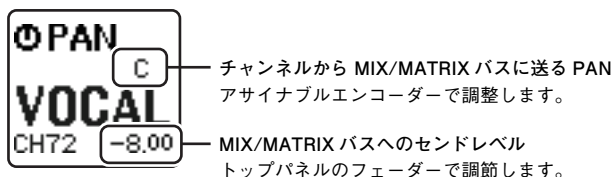
チャンネルのレベル
アサインブルエンコーダーで調整します。

MIX/MATRIX バスへのセンドレベル
トップパネルのフェーダーで調節します。

■ トップパネルの [GAIN/PAN/ASSIGN] キーで PAN を選択している場合

アサインブルエンコーダーでチャンネルから MIX/MATRIX バス (BUS SETUP 画面にて Stereo 送りに設定されているバス) に送る PAN を調整します。

チャンネルネームディスプレイ表示



チャンネルから MIX/MATRIX バスに送る PAN
アサインブルエンコーダーで調整します。

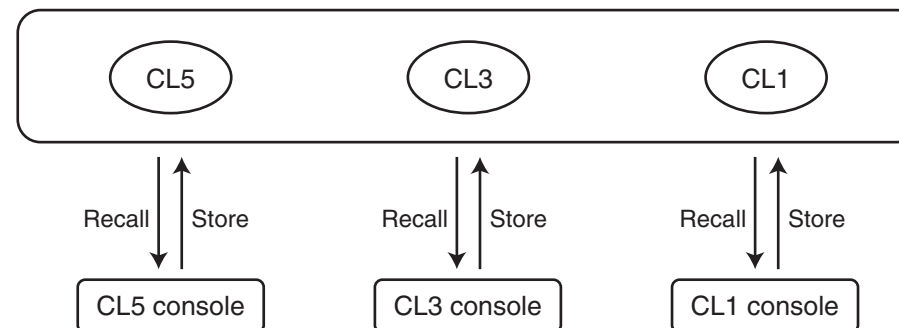
MIX/MATRIX バスへのセンドレベル
トップパネルのフェーダーで調節します。

カスタムフェーダーバンクの機能追加

カスタムフェーダーバンクの設定をシーン別にストア / リコールできるようになりました。

カスタムフェーダーバンクの設定は、各モデルの領域に分かれていて、シーンデータでまとめてストアされます。

Custom fader bank settings



NOTE

カスタムフェーダーバンクの設定はモデルによって異なり、互換性はありません。たとえば、CL5 でストアしたシーンに含まれているカスタムフェーダーバンクの設定は、そのシーンを CL3 または CL1 でリコールしても再現されません。CL3、CL1 で作成してストアする必要があります。

■ フォーカス機能

フォーカス機能ではカスタムバンクの設定をリコール（読み込み）するかどうかをシーンごとに設定できます。

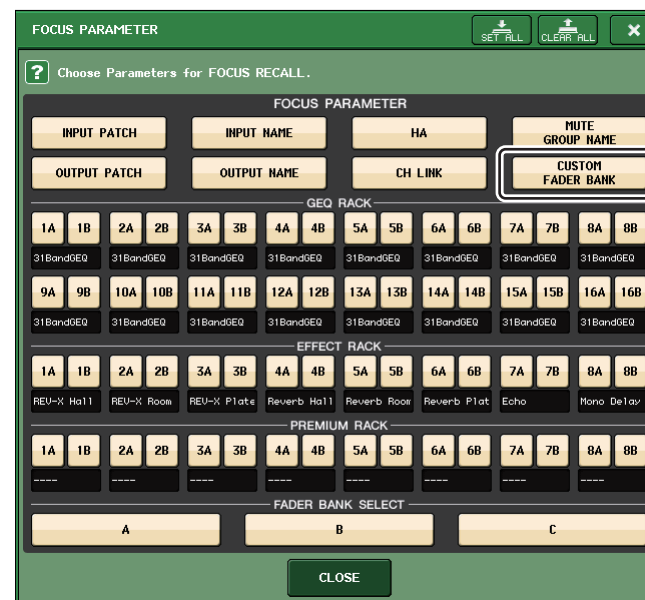
1. ファンクションアクセスエリアの SCENE フィールドを押します。
2. SCENE LIST ウィンドウ下部の FOCUS タブを押します。



カスタムバンクの設定は OTHER PARAMs に含まれます。

3. 設定したいシーンの SET ボタンを押して、FOCUS RECALL ポップアップ画面を表示します。

4. FOCUS PARAMETER フィールド ボタンを押して、FOCUS PARAMETER ポップアップ画面を表示します。



5. フォーカス対象を確認します。
6. CLOSE ボタンを押してポップアップ画面を閉じ、リコール操作を行いません。

■ リコールセーフ機能

リコールセーフ機能では一括してシーンのカスタムバンクの設定をリコール操作から除外できます。

1. ファンクションアクセスエリアの CH JOB ボタンを押して、CH JOB ポップアップ画面を表示します。
2. RECALL SAFE ボタンを押して RECALL SAFE MODE ポップアップ画面を表示します。
3. GLOBAL RECALL SAFE フィールドを押して GLOBAL RECALL SAFE ポップアップ画面を表示します。

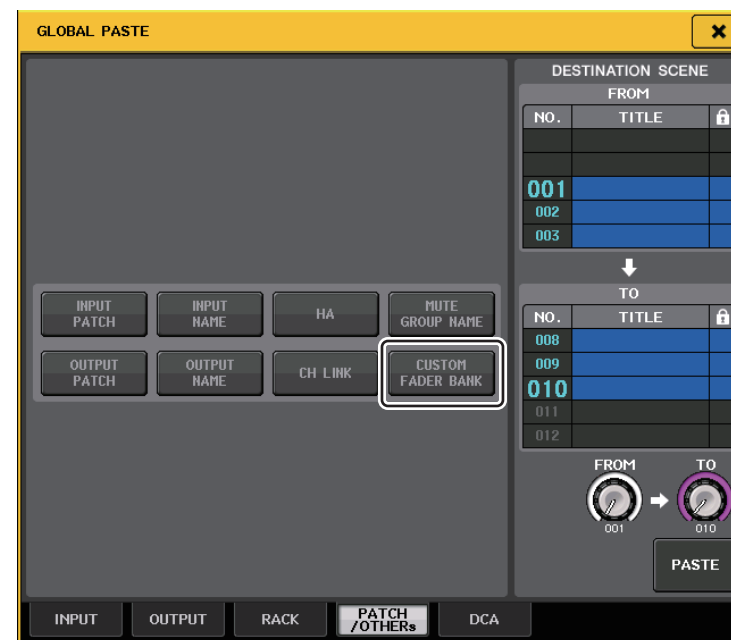


4. CUSTOM FADER BANK ボタンを押して、リコールセーフ対象に設定します。
5. CLOSE ボタンを押してポップアップ画面を閉じ、リコール操作を行ないます。

■ グローバルペースト機能

グローバルペースト機能では、カレントシーンのカスタムバンクの設定を、メモリー内のシーンデータにコピー&ペーストできます。

1. ファンクションアクセスエリアの SCENE フィールドを押して、SCENE LIST ウィンドウを表示します。
2. SCENE LIST ウィンドウ上部の GLOBAL PASTE ボタンを押して、GLOBAL PASTE ウィンドウを表示します。
3. PATCH/OTHERs タブを選択します。



4. CUSTOM FADER BANK ボタンを選択します。
5. DESTINATION SCENE 欄で、ペースト先になるシーンの範囲を選びます。
6. PASTE ボタンを押します。

NOTE

- ・ CL の内部データを一括して USB メモリーからロードした場合、必要に応じてユーザー認証キーをロードしてください。ロードしたユーザーのカスタムフェーダーバンク設定が反映されます。
- ・ PREVIEW モード中は、CL Editor からの変更に対して即時反映されません。PREVIEW モードを終了するときに反映されます。

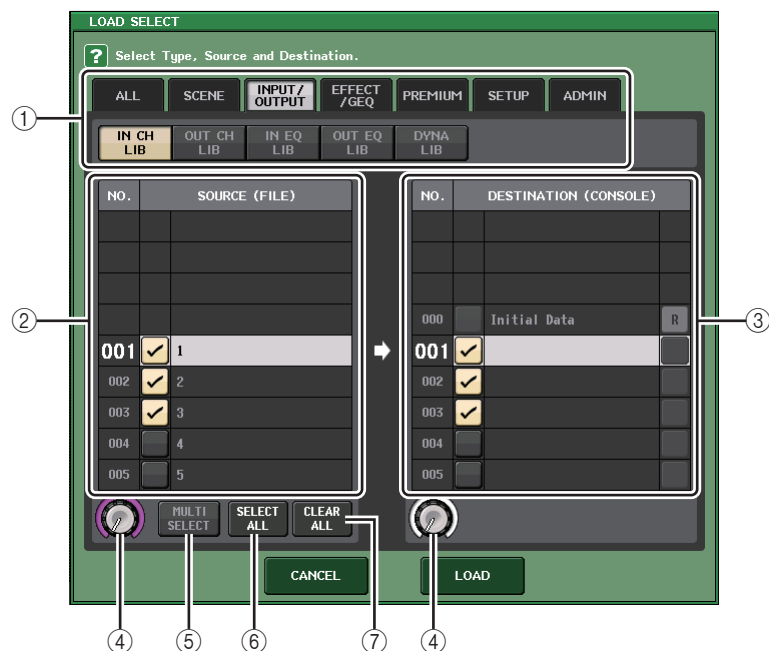
ロード/セーブの機能追加

CL シリーズの設定データを USB メモリーから個別にロード、または USB メモリーに個別にセーブできるようになりました。

USB メモリーから設定データをロードする

USB メモリーにセーブされた CL 設定データを CL シリーズへロードします。

1. ファンクションアクセスエリアの SETUP ボタンを押して、SETUP 画面を呼び出します。
2. SAVE/LOAD ボタンを押して、SAVE/LOAD ポップアップ画面を表示します。
3. ファイルリストに表示されたファイルを押す、またはパネル上のマルチファンクションノブを回して、ロードしたいファイルを選択します。
4. LOAD ボタンを押して、LOAD SELECT ポップアップ画面を表示します。



- ① TYPE フィールド
ロードするデータのタイプを選択します。
- ② SOURCE フィールド
USB メモリーに保存されているデータを表示します。

- ③ DESTINATION フィールド
ロード先を表示します
 - ④ データ選択ノブ
フィールドに表示されたデータを選ぶノブです。
 - ⑤ MULTI SELECT ボタン
このボタンを押すと、複数の設定データをまとめて選択できます。
 - ⑥ SELECT ALL ボタン
このボタンを押すと、すべての項目を選択できます。
 - ⑦ CLEAR ALL ボタン
このボタンを押すと、すべての選択を解除できます。
5. TYPE フィールドのタブとボタンを押して、ロードするデータのタイプを選択します。
TYPE フィールドの表示はタブの選択によって異なります。

- ALL タブ
すべての項目を対象にします。
- SCENE タブ
シーンメモリーを対象にします。
- INPUT/OUTPUT タブ
選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
IN CH LIB	インプットチャンネルライブラリー
OUT CH LIB	アウトチャンネルライブラリー
IN EQ LIB	インプット EQ ライブラリー
OUT EQ LIB	アウト EQ ライブラリー
DYNA LIB	ダイナミックスライブラリー

- EFFECT/GEQ タブ
選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
EFFECT LIB	EFFECT ライブラリー
GEQ LIB	GEQ ライブラリー

- PREMIUM タブ
選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
5033 LIB	Portico5033 ライブラリー
5043 LIB	Portico5043 ライブラリー
U76 LIB	U76 ライブラリー

ボタン	データ内容
Opt-2A LIB	Opt-2A ライブラリー
EQ-1A LIB	EQ-1A ライブラリー
DynaEQ LIB	DynamicEQ ライブラリー

・ SETUP タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
MIXER SETUP	ミキサーセットアップ
OUTPUT PORT	アウトプットポート
MONITOR	CUE/MONITOR/OSCILLATOR/TALKBACK
MIDI SETUP	MIDI セットアップ
MIDI PGM	MIDI プログラムチェンジ
MIDI CTL	MIDI コントロールチェンジ
Dante In Patch	DANTE インプットパッチライブラリー

NOTE

アウトプットポートの項目を個別にロードした場合に、ポートに割り当てられたチャンネルの設定が反映されません。そのチャンネル設定がある入出力のパッチングを含むシーンをロードした後、リコールしてください。

・ ADMIN タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
ADMIN PREF	PREFERENCE (Administrator 用)
ADMIN UDEF	USER DEFINED KEYS/USER DEFINED KNOBS (Administrator 用)
ADMIN FADER	CUSTOM FADER BANK (Administrator 用)
GUEST PREF	PREFERENCE (Guest 用)
GUEST UDEF	USER DEFINED KEYS/USER DEFINED KNOBS (Guest 用)
GUEST FADER	CUSTOM FADER BANK (Guest 用)
GUEST LEVEL	USER LEVEL (Guest 用)

6. SOURCE フィールドでロードするデータにチェック (☑) をつけて選択します。

複数のデータをまとめてロードする場合は MULTI SELECT ボタンを押します。

7. DESTINATION フィールドでロード先にチェック (☑) をつけます。

8. LOAD ボタンを押します。

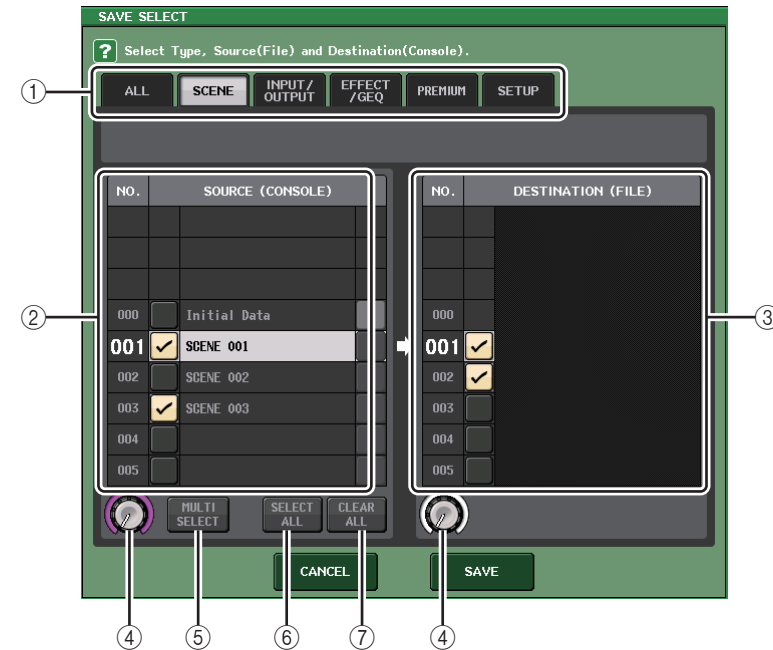
NOTE

DESTINATION リストでロードできるデータの個数が、ロードする個数に足りない場合は、可能な個数分のデータを書き込みます。

CL 設定データを USB メモリーにセーブする

CL シリーズの内部データを USB メモリーにセーブします。

1. ファンクションアクセスエリアの SETUP ボタンを押して、SETUP 画面を呼び出します。
2. SAVE/LOAD ボタンを押して、SAVE/LOAD ポップアップ画面を表示します。
3. 必要ならば、ディレクトリーのアイコンを押して、ディレクトリーを移動します。
4. SAVE ボタンを押して、SAVE SELECT ポップアップ画面を表示します。



- ① TYPE フィールド
セーブするデータのタイプを選択します。
- ② SOURCE フィールド
CL シリーズの内部データを表示します。
- ③ DESTINATION フィールド
セーブ先を表示します
- ④ データ選択ノブ
フィールドに表示されたデータを選ぶノブです。

⑤ MULTI SELECT ボタン

このボタンを押すと、複数の設定データをまとめて選択できます。

⑥ SELECT ALL ボタン

このボタンを押すと、すべての項目を選択できます。

⑦ CLEAR ALL ボタン

このボタンを押すと、すべての選択を解除できます。

5. TYPE フィールドのタブとボタンを押して、セーブするデータのタイプを選択します。

TYPE フィールドの表示はタブの選択によって異なります。

・ ALL タブ

すべての項目を対象にします。

・ SCENE タブ

シーンメモリーを対象にします。

・ INPUT/OUTPUT タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
IN CH LIB	インプットチャンネルライブラリー
OUT CH LIB	アウトチャンネルライブラリー
IN EQ LIB	インプット EQ ライブラリー
OUT EQ LIB	アウト EQ ライブラリー
DYNA LIB	ダイナミックスライブラリー

・ EFFECT/GEQ タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
EFFECT LIB	EFFECT ライブラリー
GEQ LIB	GEQ ライブラリー

・ PREMIUM タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
5033 LIB	Portico5033 ライブラリー
5043 LIB	Portico5043 ライブラリー
U76 LIB	U76 ライブラリー
Opt-2A LIB	Opt-2A ライブラリー
EQ-1A LIB	EQ-1A ライブラリー
DynaEQ LIB	DynamicEQ ライブラリー

・ SETUP タブ

選択できる項目は次の表のとおりです。

ボタン	データ内容
MIXER SETUP	ミキサーセットアップ
OUTPUT PORT	アウトプットポート
MONITOR	CUE/MONITOR/OSCILLATOR/TALKBACK
MIDI SETUP	MIDI セットアップ
MIDI PGM	MIDI プログラムチェンジ
MIDI CTL	MIDI コントロールチェンジ
Dante In Patch	DANTE インプットパッチライブラリー

NOTE

- ・ アウトプットポートの項目を個別にセーブした場合に、ポートに割り当てられたチャンネルの設定は保存されません。そのチャンネル設定がある入出力のパッチングを含むシーンも同時にセーブしてください。
- ・ 個別にロードする場合に ADMIN タブに含まれる項目は、セーブする場合には ALL に含まれません。

6. SOURCE フィールドでセーブするデータにチェック (☑) をつけて選択します。

複数のデータをまとめてセーブする場合は MULTI SELECT ボタンを押します。

7. DESTINATION フィールドでセーブ先にチェック (☑) をつけます。

8. SAVE ボタンを押して、FILE SAVE ポップアップ画面を表示します。



9. ファイル名やコメントを入力して SAVE ボタンを押します。

USB 過電流からの復帰機能追加

USB 端子に過電流が発生したことによって USB 機器との接続が切れても、再起動しないで USB 機器を再接続できるようになりました。



復帰方法

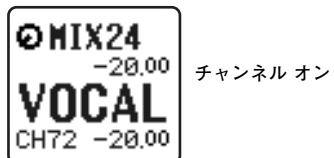
USB 端子に過電流が生じた要因を取り除いたあと、SAVE/LOAD 画面の FORMAT ボタンに "USB REMOUNT" と表示された箇所を押します。

そのほかの機能

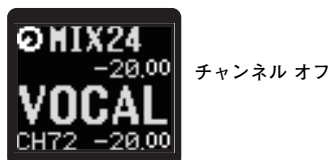
チャンネルネームディスプレイの表示改善

チャンネルネームディスプレイおよびチャンネルカラーインジケータの表示を改善しました。

SENDS ON FADER モード時に、チャンネルのオン / オフを表示するようにしました。



チャンネル オン



チャンネル オフ

USER SETUP ポップアップ画面の PREFERENCE ページにて、NAME DISPLAY の設定を "NAME ONLY" にした場合、チャンネル番号を表示するようにしました。



チャンネル番号の表示

チャンネルカラーの追加

チャンネルカラーに黒を設定できるようになりました。黒が選択されたチャンネルは、チャンネルカラーインジケータが消灯します。

CH COLOR/ICON ポップアップ画面にて設定します。

■ チャンネルカラーの設定

1. チャンネルカラーを設定したいインプット系チャンネルを含む OVERVIEW 画面を表示します。
2. そのチャンネル番号 / チャンネル名フィールドを押して、PATCH/NAME ポップアップ画面を表示します。
3. チャンネルカラーを選びます。



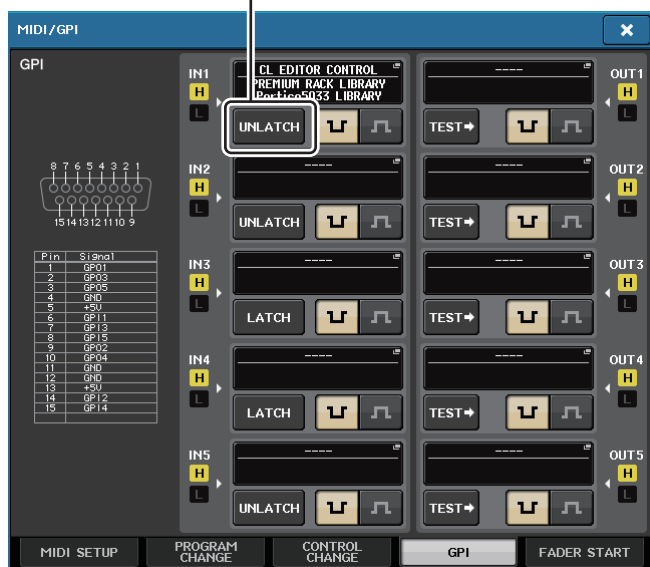
GPI の機能追加

GPI IN ポートに接続する外部スイッチの属性 (ラッチ / アンラッチ) を選択できるようになりました。

■ GPI の設定

1. ファンクションアクセスエリアの SETUP ボタンを押して、SETUP 画面を表示します。
2. MIDI/GPI ボタンを押して、MIDI / GPI 画面が表示します。
3. GPI タブを押します。

スイッチ属性ボタン



スイッチ属性選択ボタンは押すたびに、LATCH と UNLATCH に表示が切り替わります。

LATCH LATCH (押すたびにオン / オフが切り替わるスイッチ) を選びます。

UNLATCH UNLATCH (押し続けている間だけオンになり、離すとオフになるスイッチ) を選びます。

Dante オーディオネットワーク設定の初期化

Dante オーディオネットワークにエラーが起きたときに、Dante に関する設定も工場出荷時の状態に初期化できるようになりました。

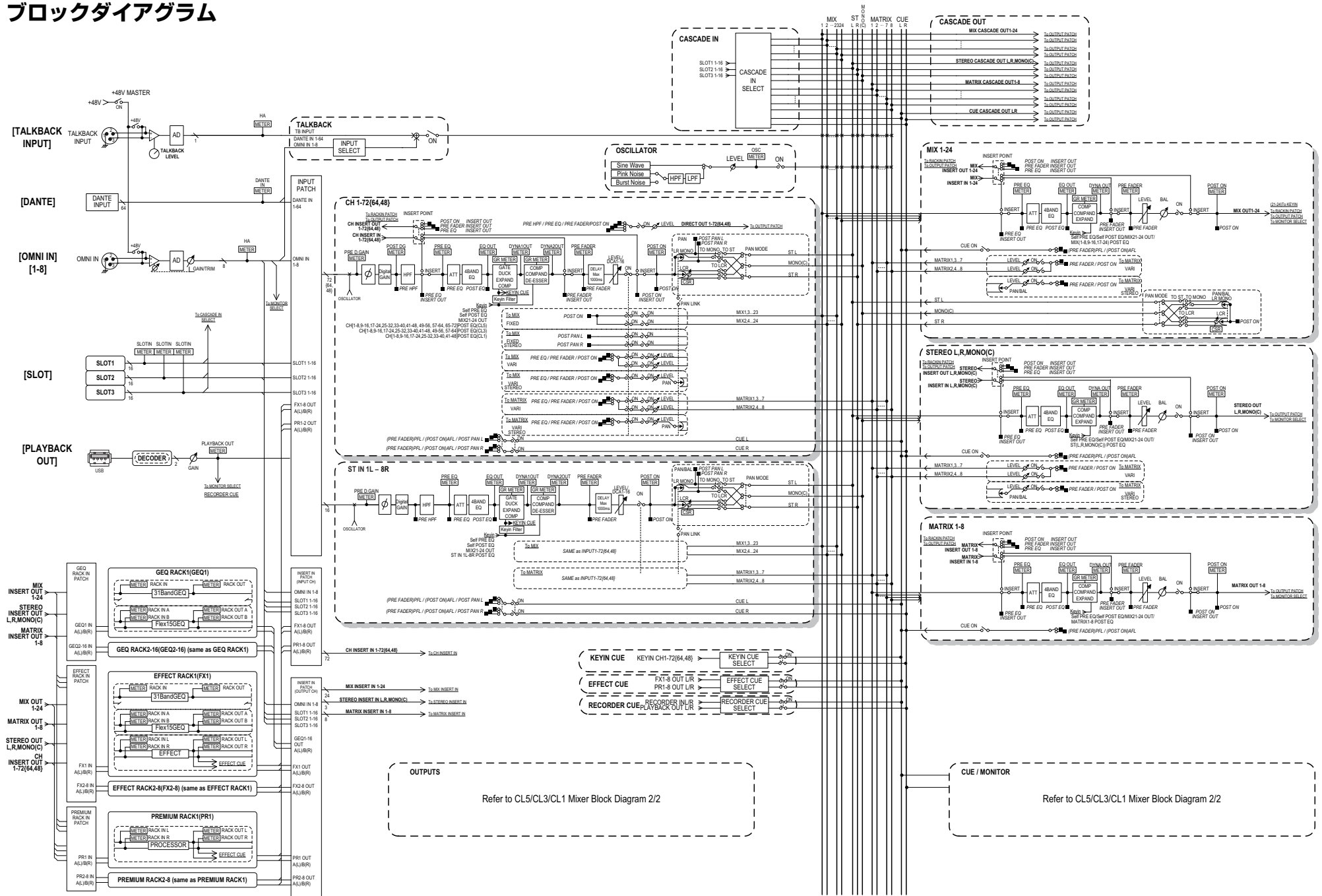
注記

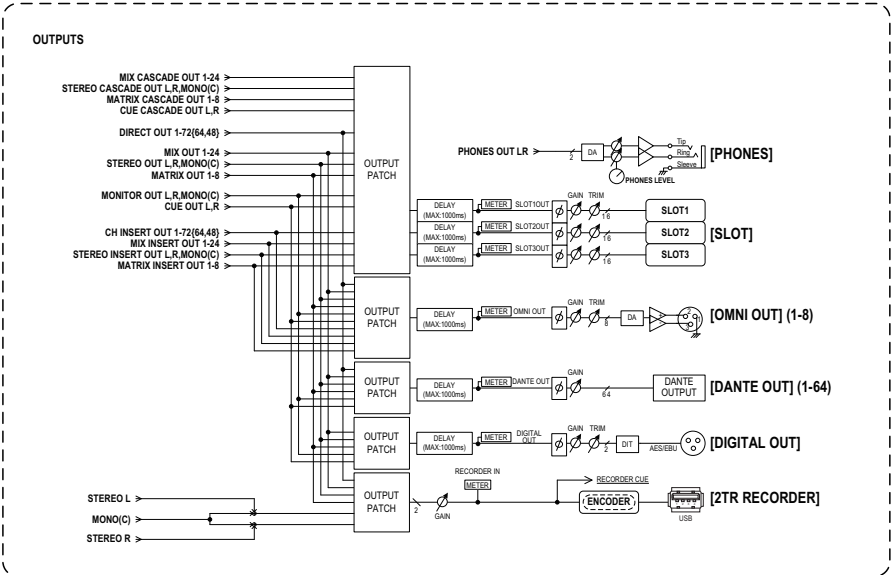
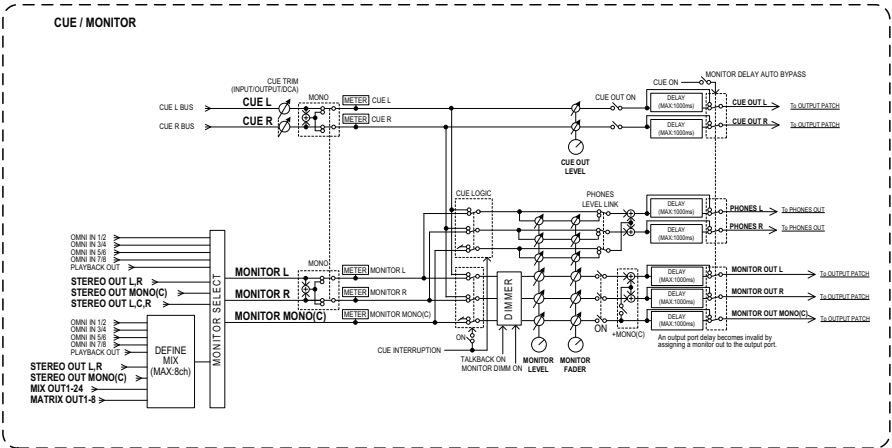
初期化すると、それまでメモリー内に保存されていた Dante オーディオネットワーク設定を含むすべてのコンソール設定が失われます。

以下の操作は慎重に行なってください。

1. パネル上の SCENE MEMORY [STORE] キー と [INC] キーを同時押ししながら、電源を入れます。
2. 初期化が完了したメッセージが表示されますので、CLOSE ボタンを押します。

ブロックダイアグラム







ヤマハ プロオーディオウェブサイト
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>
ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

C.S.G., PA Development Division
© 2013 Yamaha Corporation

310IP-A0